

## 川鉄テクノリサーチ(株)における分析・評価技術\*1

福田 文二郎\*2

Chemical and Physical Analysis

in Kawasaki Steel Techno-research Corp.

Bunjiro Fukuda

Table 1 Analytical method and measurable content range

Analytical method	Analyzed elements	Measurable content range ( $g \cdot g^{-1}$ )				
		1	$10^{-3}$	$10^{-6}$	$10^{-9}$	$10^{-12}$

腐食性など)を類推し破損発生原因を推定する。特に金属性の機械部材の破損解析は、SEMによる破面の詳細な観察、EPMAなどによる微小部の成分分析などにより定量的な議論も可能となっている。材料評価で重要な強度試験(引張・硬さ・衝撃・曲げ・疲れ・高圧強度)は、川鉄テクノロジー(株)技術支援センター所蔵の大型

#### 4 技術販売

##### (1) 標準試料販売

(社)日本鉄鋼連盟の委託を受け、日本鉄鋼認証標準物質(JCS)の販売を行っており、鉄鋼・鋳鉄の製造工程等に関

構造物試験機を含めて多数の試験機を保有しており お客様のニ

用いられる発光分光分析 蛍光X線分析の機器標準化用試料の